

# 8 復興の息吹き

## 人間の復興・農林漁業の再生

田代洋・岡田知弘編著 東日本大震災・原発事故を人類史的な転換点と捉え、その交点に位置する農漁業復興の息吹きを、地域の歴史の営為の連続として描く。大震災、原発災害という極限からの地域の再生は、潜在的被災者である全国民共通の課題。

2730円



### 1 地元学からの出発

結城登美雄著 「今ここにあるもの」を発見・再発見し、活用する手法考え方が地元学。その主唱者が20年にわたる実践と全国各地の多彩な事例を通してその真髄を示す。

●2730円

### 2 共同体の基礎理論

内山節著 古典と同タイトルの示す共同体の新たな地平。著者が住む群馬県上野村のむら社会の古層から、自然信仰や民衆の死生観も含め、未来社会への鍵として捉え直す。

●2730円

### 4 食料主権のブランドデザイン

村田武編著 食料安保と食料危機の解決には米国への食料依存からの脱却とTPP不参加が必須。貿易における強者の論理を排し諸国民の食料主権確立運動との連帯を追求。

●2730円

### 12 場の教育「土地に根ざす学び」の水脈

岩崎正弥・高野孝子著 中央立身志向の日本近代教育に伏流する、石川三四郎、賀川豊彦、江渡狄嶺、三澤勝衛ら、地元の価値を見出し育む教育を地域再生の実践へとつなぐ。

●2730円

### 17 里山・遊休農地を生かす

野田公夫・守山弘・高橋佳孝・九鬼康彰著 生物多様性と生活文化を育んだ里山との関わりを歴史から、都市民も含む新たな入会制による遊休農地活用の道を提案。

●2730円

# 宮本常一とあるいた昭和の日本

伝説の紀行誌が甦る。

むらまちの魅力を見出すふるさと紀行

全国を隈なく歩き、宮本と弟子達が昭和42年〜63年に編集した「あるくみるきく」を地方別テーマ別に写真多載し再編成。監修：田村善次郎・宮本千晴、B5判変型

## 24 祈りの旅



身近に生きる信仰を訪ねる／天龍川―まつりのふる里お四国めぐり―遍路旅歩、早池峰山麓―山伏神楽の里、石塔入門記―こんびら暮らし―金刀比羅宮奉納物調査記他

●2940円

## 25 青春彷徨

高度成長に背を向けた若者たちの自己発見、ひとり旅行／ふうらい坊渡世、日本縦断徒歩旅行―宗谷岬から佐多岬まで、百姓志願にしひがし他

●2940円



## 全25巻完結

最終回配本  
20 祭と芸能

10月発売予定 2940円

農文協

全国書店で販売中 〒107-8668 東京都港区赤坂7-6-1 ☎03-3585-1141 FAX03-3585-3668 (価格は税込)

<http://shop.ruralnet.or.jp/>

●「宮本常一とあるいた昭和の日本」案内進呈…左記TD⑨係へ